

コバルトの下半期の国際相場はポンド16—20ポンド(純度99・3%)で推移するだろう。

### コバルト

8月上旬は16ポンド底を打っていたが、需要家の在庫補充買いで、足元は19ポンド近くまで引き上がっている。しかし手当てはほぼ一巡し、これ以上の実需も見込めない。20ポンド前で下げに転じ、場合によっては再び下値16ポンドもあるとみている。

鉱石主産国であるコンゴ民主共和国からの精鉱輸出は滞沢で、最大ユーザーの中国は夏場の底値時に買い込んだ。さらに中国国内では、またしてもコバルト系電池材料の在庫が滞留している。

### 実需増見込めずポンド16—20ポンド

国内の二次電池需要は、スマートフォンなどの携帯端末向けの民生用で好調だが、省コバルト化が進む懸念がある。ハイブリッドカー用電池が本格化するには、まだ数年かかる。発電タービン用などのスーパーアロイ(高強度耐熱合金)向けでも大きな動きはない。需給関係の売買材料は全般的に乏しい。



取締役専務ドナルドメタル  
山頰 敏彦氏